

仙台バッハゼミナール

チェンバロ奏者 栗形亜樹子氏によるバッハ特別講座



日 時 / 2019年4月13日(土)

第1部 講座 13:00~15:00

第2部 公開レッスン 15:30~17:30

会 場 / 山野楽器仙台店 8F イベントホール

参加費及び聴講料/

1部・2部とも各 一般 2000円・高校生以下 1000円

通し券 一般 3500円・高校生以下 1500円

※ 当日は平均律クラヴィーア曲集第I巻をご持参ください。

バッハのテンポ、どうやって決めていますか？～ C 本来の意味から音楽へ通じる道 ～

第1部の講座では、全ての鍵盤奏者が避けては通れない J.S.バッハを演奏する際のテンポについて取り上げます。C(4/4 ではありません！)、Cなどの拍子記号を再認識し、当時の人々、またバッハ自身がどのように楽曲のテンポを決めていたのかを探ります。

第2部では、実際にピアノで演奏をしていただき、装飾音やリズム、アーティキュレーションなど、どのように楽譜を捉え、考えていくべきかを参加者の皆さんと共に見ていきます。曲名につきましては、決まり次第、山野楽器仙台店の HP や仙台バッハゼミナールのブログに掲載させていただきます。

栗形亜樹子(くわがた・あきこ チェンバロ奏者) プロフィール

東京藝大付属高校、同大学作曲科を経てドイツ、デトモルト及びシュトゥットガルト音大チェンバロ科卒。パリに移りセルジー・ポントワーズ国立地方音楽院等で教鞭を取る傍、欧州各国で演奏活動。パリ、ブリュージュ、ライブツィヒのチェンバロ国際コンクールにおいて上位入賞。18年間の欧州滞在後帰国、幅広く活動。昨年全音楽譜出版社よりケープラン『クラヴサン奏法』新訳出版、dream window TREEレーヴェルより「メディテーション～フローベルガーの眼差し(主要6組曲他)」『バッハ平均律曲集第1巻全曲』を'18年以降世界配信リリース。6月にはフランス、コルマルでのオリジナル楽器での録音とコンサートを予定している。

お問い合わせ

e-mail : sendai_bachseminar@yahoo.co.jp

TEL : 022-794-9244 (MHKS)・022-797-2048(山野楽器 3F)

参加ご希望の方は4月10日までにメール、電話にてご予約下さい。

当日に会場での受付も可能です。

尚、当初お知らせをしていた富田庸氏の講座は5月19日(日)に変更になりました。

